

はじめに

わたしたちのまち栃木市は、「くらの街とちぎ」として知られています。れきし的建ぞう物やゆたかな自然にめぐまれ、多くの魅力にあふれています。そんなれきしある栃木市で生まれ、人や社会の役に立つせい品をつくる世界的な会社をつくった偉大な人がいることを知っていますか？

HITACHIという名前は、みなさんも一度は耳にしたり、その会社のせい品を使ったりしたことがあるでしょう。そう合電機メーカー、株式会社日立製作所のそう業者、小平浪平は、わたしたちのまち栃木市で生まれました。

栃木市で生まれた小平浪平はどのように育ち、どんな希望をいだいて努力し、どのように失敗やざ折を乗り越えて世界的な会社をつくることができたのでしょうか。それを知ることで、わたしたちのまちにほこりを持つとともに、これからのみなさんの人生や自分のゆめの実現のための参考になることを願っています。



もくじ

◆ 小平浪平の紹介	03
小平浪平ものがたり① 栃木市の合戦場で生まれる	04
小平浪平ものがたり② 電気工学を学ぶと決める	05
小平浪平ものがたり③ 鉾山で発電所をつくる	06
小平浪平ものがたり④ 反対をおし切り日立鉾山へ	07
小平浪平ものがたり⑤ 外国せいの機械から学ぶ	08
小平浪平ものがたり⑥ 純国産の5馬力モーターの完成	09
小平浪平ものがたり⑦ 数々の問題に立ち向かう	10
小平浪平ものがたり⑧ 社会にこうけんした一生	11
◆ 小平浪平が残した功せき	12-13
◆ 栃木市のゆかりのしせつ	14-15
◆ 小平浪平の生がい年表	16-17
◆ もっと深く学びたいときは	18



小平 浪平

(1874-1951)



すぐれた自主ぎじゅつ・せい品の開発を通じて社会にこうけんする

1874年(明治7年)1月15日、栃木県下都賀郡家中村合戦場(今の栃木県栃木市都賀町合戦場)生まれ。東京帝国大学工科大学(今の東京大学工学部)電気工学科卒業。

1906年(明治39年)久原鉾業所(今のJX金属)日立鉾山に入社。1910年(明治43年)に純国産の5馬力モーターをせい作し、日立製作所をそう業。1920年(大正9年)に株式会社日立製作所となる。

「すぐれた自主ぎじゅつ・せい品の開発を通じて社会にこうけんする」という思いで事業をかく大させ、日本を代表するそう合電機メーカー、株式会社日立製作所のきそをつくった。また人材育成のために、徒弟養成所(今の日立工業せんしゅう学校)を開校するなど、社会こうけんにも力を入れた。